

平成 19 年 12 月 14 日

## 第 11 期 第 2 四半期報告書

(平成 19 年 8 月 1 日から平成 19 年 10 月 31 日まで)

会社名(定款上の商号)	ユニメディカル株式会社
英文名(英文商号)	UNIMEDICAL, INC
コード番号	4562
代表者の役職氏名	代表取締役 原田 成喜
本店の所在の場所	東京都千代田区神田美土代町 1 1
電話番号	03-3294-3070
連絡者	原田 成喜

### 四半期の業績

#### (1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別		当期累計	前年同期累計
	第 11 期 第 1 四半期	第 11 期 第 2 四半期		
	自平成 19 年 5 月 1 日 至平成 19 年 7 月 31 日	自平成 19 年 8 月 1 日 至平成 19 年 10 月 31 日	自平成 19 年 5 月 1 日 至平成 19 年 10 月 31 日	自平成 18 年 5 月 1 日 至平成 18 年 10 月 31 日
売上高	2,847	2,164	5,012	1,587
売上原価	1,977	1,500	3,478	910
売上総利益	869	664	1,533	676
販売費及び一般管理費	5,029	4,762	9,792	11,271
営業損失	4,159	4,098	8,258	10,595
営業外収益	-	109	109	7,794
営業外費用	65	7	73	5
経常損失	4,225	3,997	8,222	2,805
税引前四半期(当期)純損失	4,225	3,997	8,222	2,805
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-
四半期(当期)純損失	4,225	3,997	8,222	2,805

- 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
- 前年同期累計は、当期の表示に合わせて表示しております。

(注)

科目	期別		当期累計	前年同期累計
	第 11 期 第 1 四半期	第 11 期 第 2 四半期		
	自平成 19 年 5 月 1 日 至平成 19 年 7 月 31 日	自平成 19 年 8 月 1 日 至平成 19 年 10 月 31 日	自平成 19 年 5 月 1 日 至平成 19 年 10 月 31 日	自平成 18 年 5 月 1 日 至平成 18 年 10 月 31 日
期中平均株式数	2,377 株	2,377 株	2,377 株	3,438 株
1 株当たり四半期(当期)純損失	1,777 円 65 銭	1,681 円 69 銭	3,459 円 34 銭	816 円 12 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益	-	-	-	-

潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益は、最終損益が損失となるため、記載しておりません。

事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別		当期累計 自平成 19 年 5 月 1 日 至平成 19 年 10 月 31 日	前年同期累計 自平成 18 年 5 月 1 日 至平成 18 年 10 月 31 日
	第 11 期 第 1 四半期 自平成 19 年 5 月 1 日 至平成 19 年 7 月 31 日	第 11 期 第 2 四半期 自平成 19 年 8 月 1 日 至平成 19 年 10 月 31 日		
医薬品・医薬部外品事業(DDS製剤) 健康・美容関連事業(DDS製剤)	416	7	423	1,228
医薬品・医療用品関連事業 (創傷被覆材・医薬品試薬等)	2,386	90	2,476	359
その他化粧品事業等	45	2,068	2,113	-
合 計	2,847	2,165	5,012	1,587

## (2) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別		
	第10期末 (平成19年4月30日現在)	第11期 第1四半期末 (平成19年7月31日現在)	第11期 第1四半期末 (平成19年7月31日現在)
(資産の部)			
流動資産			
1.現金及び預金	371	2,295	5,463
2.売掛金	626	1,768	-
3.未収入金	245	245	-
4.その他流動資産	530	627	801
流動資産合計	1,774	4,937	6,444
固定資産			
1.有形固定資産			
工具器具備品	45	43	40
有形固定資産合計	45	43	40
2.投資その他の資産			
敷金・保証金	1,360	1,360	1,360
投資その他の資産合計	1,360	1,360	1,360
固定資産合計	1,405	1,403	1,400
資産合計	3,180	6,340	7,844
(負債の部)			
流動負債			
1.買掛金	5,292	5,400	5,284
2.短期借入金	6,888	16,595	22,595
3.未払金	2,208	1,075	518
4.未払法人税等	70	-	-
5.その他流動負債	1,136	315	491
流動負債合計	15,595	23,387	28,889
固定負債			
退職給付引当金	1,636	1,230	1,230
固定負債合計	1,636	1,230	1,230
負債合計	17,231	24,617	30,119
(純資産の部)			
株主資本			
1.資本金	10,000	10,000	10,000
2.利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	25,351	29,577	33,574
利益剰余金合計	25,351	29,577	33,574
株主資本合計	15,351	19,577	23,574
新株予約権			
新株引受権	1,300	1,300	1,300
純資産合計	14,051	18,277	22,274
負債・純資産合計	3,180	6,340	7,844

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	期別		
	第10期末 (平成19年4月30日現在)	第11期 第1四半期 (平成19年7月31日現在)	第11期 第2四半期 (平成19年10月31日現在)
発行済株式総数	3,567株	3,567株	3,567株
1株当たり純資産額	6,458円14銭	5,123円98銭	6,244円64銭

## (3) 株主資本等変動計算書

第1四半期（自平成19年5月1日至平成19年10月31日）

（単位：千円）

項目	株主資本			新株 予約権	純資産
	資本金	利益剰余金	株主資本 合計		
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
平成19年4月30日残高	10,000	25,351	15,351	1,300	14,051
第1四半期中の変動額					
四半期純損失	-	4,225	4,225	-	4,225
第1四半期中の変動額合計	-	4,225	4,225	-	4,225
平成19年7月31日残高	10,000	29,577	19,577	1,300	18,277
第2四半期中の変動額					
四半期純損失	-	3,997	3,997	-	3,997
第2四半期中の変動額合計	-	3,997	3,997	-	3,997
平成19年10月31日残高	10,000	33,574	23,574	1,300	2,274

## (4) 貸借対照表及び損益計算書作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (6)個別注記表 重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。事業年度の貸借対照表及び損益計算書作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりであります。

## 四半期財務諸表作成において採用した会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法	四半期末に保有する有形固定資産及び無形固定資産の年間減価償却見積額の1/4相当額を各四半期に計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準	四半期においては、計上を省略しております。
3. 経過勘定項目	未収収益、未払費用など経過勘定項目のうち重要性が低い項目については、四半期決算上計上を省略しております。

なお、当該四半期計算書類については、公認会計士の監査は受けておりません。

## (5) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## 第11期第2四半期(平成19年8月1日から平成19年10月31日まで)の業績の概況

事業部門別売上高では、医薬品・医薬部外品事業(DDS 製剤)健康・美容関連事業(DDS 製剤)7千円、医薬品・医療用品関連事業(創傷被覆材・医薬品試薬等)90千円、及びその他化粧品事業等2,068千円で、売上高合計2,164千円となりました。

当第2四半期に新規商品「クロモジン歯ミガキ」を株式会社コスモバイオス(北海道)より受注し、納品致しました。その売上は2,218千円(5月に試作品代47千円計上)となりました。

「クロモジン歯ミガキ」は北海道の母子里笹(クマイ笹)を循環多段式加圧抽出(特許)した濃縮エキスであるクマイ笹エキス(AHSS:ササの葉エキス)を使用した商品であります。

クマイ笹エキス(AHSS)は、黄色ブドウ球菌や緑膿菌、枯草菌、大腸菌などの殺菌に効果があることがわかり、ヘリコバクター・ピロリ菌やコレラ菌についても大きな抗菌効果が近藤勇名誉教授(東京慈恵会医科大学名誉教授)の基礎研究で立証されています。

ついては、クマイ笹エキス(AHSS)は、口腔内の細菌のうち、歯周病菌の代表であるポルフィロモナス・ジンジバリス菌や、虫歯菌として知られるミュータンス連鎖球菌に対して特に強い抑制作用が期待できることがわかりました。しかも、その抑制作用はササの葉のエキスを薄い濃度にしても、十分に発揮されることが実証されました。

ヒトの口腔内には、3百種を超える細菌種が数十億個も住み着いています。口腔清掃(歯ブラシ)が悪い場合、その数は1兆個近くになってしまいます。

齲蝕(うしょく:虫歯になること)・歯周病は、ひとつの原因細菌だけで起こるものではなく、必ず複数の細菌が存在し、病原性のバイオフィーム<sup>注1)</sup>を形成します。バイオフィームを形成する細菌は、緑膿菌、黄色ブドウ球菌、肺炎桿菌、肺炎球菌、齲蝕原因菌といわれているミュータンス連鎖球菌、さらに細菌表面に莢膜多糖<sup>注2)</sup>やリポ多糖(LPS)をもつ歯周病原菌といわれているグラム陰性嫌気性桿菌があります。

注1. バイオフィーム: Biofilm: 生物膜とは、多糖類やその他有機汚染物質でできた粘性のあるゲルの中に、細菌(バイ菌)・真菌(カビ)などの微生物が入り込んで複合体を形成し、自動力のない表面に付着した状態の総称です。

注2. 莢膜多糖(きょうまくたとう): 細菌の外側にある多糖類の厚い層。ゼリー質または粘性で、菌種や型によって異なる抗原性を示す。

上記「クロモジン歯ミガキ」等の納入の結果、当四半期につきましては、売上高2,164千円(前年同期比970.4%増)、営業損失4,098千円(前年同期は営業損失5,412千円)、経常損失3,997千円(前年同期は経常損失5,418千円)、四半期純損失3,997千円(前年同期は四半期純損失5,418千円)となりました。

## 第10期通期の売上高及び利益の予測について

従来、業績予想につきましては、業界動向や営業状況を勘案して公表してまいりましたが、現時点の当社においては、事前予測することには無理があり、また、公表することにより、誤った予見を与える恐れがあるため、当面、業績予測を公表しないことといたしました。

## 資金及び借入金の状況

### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科目	期別	第11期 第1四半期 自平成19年5月1日 至平成19年7月31日	第11期 第2四半期 自平成19年8月1日 至平成19年10月31日
	現金及び預金の増減額		1,923
現金及び預金の四半期首残高		371	2,295
現金及び預金の四半期末残高		2,295	5,463

#### (主な増減理由)

第2四半期の資金の増加理由は、下記によります。

税引前四半期純損失	3,997千円
売掛金の減少	1,768千円
短期借入金の増加	6,000千円
その他	603千円
計	3,168千円

### (2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科目	期別	第11期 第1四半期 自平成19年5月1日 至平成19年7月31日	第11期 第2四半期 自平成19年8月1日 至平成19年10月31日
	短期借入金の増減額		9,707
短期借入金の四半期首残高		6,888	16,595
短期借入金の四半期末残高		16,595	22,595

#### (主な増減理由)

運転資金の借入れによります。

## その他

該当事項はありません。